

野生生物の遺伝的多様性の研究—保全と保護管理—

山形大学理学部
生物学科

教授
玉手 英利
TAMATE Hidetoshi



専門分野

基礎生物学・生態遺伝学

キーワード

生物多様性、遺伝的多様性、野生動物保護管理、
環境技術、集団遺伝解析、分子系統解析

研究紹介

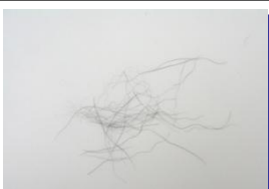
野生動物の地域変異と遺伝的多様性に関する研究

ニホンジカ、ツキノワグマ、ニホンイノシシ、ニホンザルなど大型哺乳動物について、地域個体群による遺伝的特性の違いを調査



分子マーカーによる個体数推定法の開発

毛、糞や骨に含まれるDNAを分析することにより、個体数推定をおこなう方法を開発



野生生物特異的な遺伝子マーカーの開発

ニホンジカ、ツキノワグマ、アズマモグラ、カイアシ類など生態系において重要な役割を果たす生物を対象として、集団内多型を検出するための遺伝子マーカーを開発



相談・要望に応じられる分野

- ◎技術相談・・・遺伝子分析を用いた野生生物のモニタリング調査（種の同定、個体数推定、移動経路等の調査）
野生動物や飼育動物の親子判定
- ◎出張講義・・・生物多様性や野生生物保護・保全に関する講義・実験等

研究の今後の展望

- ◎今後の展望
 - ・分子マーカーを用いた野生生物の生息調査手法の開発
 - ・糞や毛を利用した非侵襲的な野生動物の遺伝子分析手法の開発
 - ・絶滅危惧生物の遺伝的多様性のモニタリング
- ◎想定される用途
移入種や未知の生物の種同定、移入生物の侵入経路の推定、大型動物の地域間の移動状況の把握

利用研究設備

ジェネティックアナライザ
(DNAシーケンサー)



- 連絡先 Tel/Fax: 023-628-4620
- E-mail tamate@sci.kj.yamagata-u.ac.jp